

東京港に輸入される植物類 (27) コーヒー

種類：コーヒーはアカネ科コーヒーノキ(*Coffea*)属に属する植物の総称で、アラビカ種(*C. arabica*)とロブスタ種(*C. canephora var. robusta*)で全生産量の98%を占め、他にリベリカ種(*C. liberica*)などがある。アラビカ種は世界で最も多く栽培され生産量の7割以上を占め、種類は多い。高品質で収量も比較的高く、原産はエチオピアである。

ロブスタ種は1985年にコンゴで発見され、性質は病虫害に強く、高温多湿の気候に適応し収量が多い。世界での生産量の2~3割を占め、主な栽培地は東南アジアとアフリカの一部、そしてベトナムでの栽培が伸びており、インスタントコーヒー用途等の需要が高い。



栽培：常緑で光沢を帯びた葉と白い花をつけ、その後、コーヒーチェリーと呼ばれる鮮やかな赤~紫の実をつける。果実には2粒の種子が向かい合わせに入り、これがコーヒー豆である。熱帯地方で大規模に栽培されるほか、観葉植物として鉢植えて利用される。実生で繁殖させ、4~5年で成木となり、ジャスミンに似た香りの白い花を咲かせる。

樹高は放置すれば10m前後に達するが、農園では実の採取に適した3m程度で管理される。このため、8~9年で幹を地上30cm程度残し伐採・再生させるが、これを2回ほど行っている。



主要産地
コーヒー園 (ブラジル)

は北緯25~南緯25度までの熱帯と亜熱帯に集中し「コーヒーベルト」、「コーヒーゾーン」と呼ばれる。この地域のうちで300~400mから2500mの高地で、15~25℃の温暖さと湿度、日照等の好適地で栽培されている。

生産：コーヒーベルト地帯にある多くの国で生産されており、世界全体の生産量(表-1)は、2014年は8,790千トンであり、うち第一位はブラジルで、次いでベトナム、コロンビアなどとなっている。このうち、ベトナムでの生産が伸びており、ロブスタ種の生産が主となっている。

表-1 コーヒーの生産量 単位: トン

	2012年	2013年	2014年
ブラジル	3,037,534	2,964,538	2,804,070
ベトナム	1,260,463	1,326,688	1,406,469
コロンビア	462,000	653,160	728,400
インドネシア	691,163	675,800	643,900
エチオピア	275,530	392,006	419,980
インド	314,000	318,200	304,500
ホンジュラス	343,403	280,697	282,230
グアテマラ	272,432	248,668	231,536
ペルー	320,164	256,241	222,047
ウガンダ	186,125	222,894	220,135
..
世界計	8,823,385	8,890,919	8,790,011

資料：FAO「FAOSTAT」

貿易：輸入量が多い国は、米国、ドイツ、イタリア、日本等の順となっており、コーヒーベルト地帯外の国々への輸入が主である(表-2)。なお、ドイツの輸入量が多いが、これは19世紀後半以降のハンブルク港や国内コーヒー関連企業の貿易活動によるもので、一部は同国からヨーロッパ諸国に輸出される。

表-2 コーヒーの輸入量 単位: トン

	2011年	2012年	2013年
米 国	1,376,620	1,371,338	1,415,815
ド イ ツ	1,105,436	1,141,145	1,116,376
イ タ リ ア	473,431	497,261	505,675
日 本	416,805	379,982	457,087
ベルギー	302,332	292,599	285,794
スペイン	255,259	267,889	264,257
フランス	251,431	252,927	238,122
カナダ	147,607	147,472	152,430
イギリス	146,032	137,767	147,642
ス イ ス	131,094	130,942	143,112
..
世界計	6,449,285	6,602,479	6,671,457

資料：FAO「FAOSTAT」

一方で、輸出している国は、第一位がブラジルで1,699千トン、次いでベトナム、コロンビア、インドネシア等となっている。なお、ドイツからの輸出は341千トンとなっている(表-3)。

表-3 コーヒーの輸出量 単位:トン

	2011年	2012年	2013年
ブラジル	1,791,207	1,503,713	1,699,147
ベトナム	1,256,400	1,705,033	1,306,503
コロンビア	433,646	396,365	543,685
インドネシア	346,092	447,064	532,157
ドイツ	348,584	370,930	341,680
ホンジュラス	252,928	317,247	254,201
ペルー	293,638	265,468	237,379
ウガンダ	185,775	169,038	230,248
インド	231,087	216,703	227,677
エチオピア	159,135	203,652	218,937
..
世界計	6,727,923	7,119,837	6,965,989

資料:FAO「FAOSTAT」

検疫:我が国の植物検疫での検査数量は、全国ベースで45万トン前後となっている。輸入先はブラジルが最も多く、次いでベトナム、コロンビア、グアテマラなどである。

平成29年9月12日付、「アメリカ合衆国産ばれいしょ生塊茎に関する植物検疫実施細則」の一部改正

今回の改正は、アイダホ州（ビンガム郡及びボンネビル郡を除く。）からの輸入再開を認める等の変更です。

これまでの経緯は、米国がジャガイモシストセンチュウ及びジャガイモシロシストセンチュウの発生源であるため、ばれいしょの輸入は禁止されていますが、平成18年2月に同害虫の発生州以外で生産等、一定の条件下で輸入解禁されました。しかし、同年4月にアイダホ州でジャガイモシロシストセンチュウが発見されて以降、同州産は輸入停止となっておりましたが、今回はその一部が改正されたものです。

その他輸入条件の詳細については、植物防疫所ホームページをご確認下さい。

植物検疫における輸入解禁要請に関する手続きの進捗状況について

輸入植物検疫での輸入禁止措置は、日本に万一侵入まん延した場合、甚大な被害が予想される病害虫で、かつ、輸入時の検査で対象の病害虫を的確に発見することが困難なことから、その付着するおそれのある植物の輸入を禁止とするものです。

輸入禁止品の解禁は、基本的にはその該当国の植物検疫当局からの解禁要請と殺虫試験データ等の提出を受けた後、我が国の植物検疫当局の評価及び公聴会の開催等一定の手続きを経て行われます。

これら解禁に至るまでの検証が、現在どのような進捗

なお、2016年の検査量は434,503トンで、消毒等の措置は6,015tと少ない状況である（表-4）。

表-4 我が国のコーヒーの輸入検査量と検査結果 単位:トン

	2014年 検査量	2015年 検査量	2016年		
			検査量	うち消毒	うち廃棄
ブラジル	139,044	133,480	137,659	1,798	0
ベトナム	78,833	82,048	99,209	0	0
コロンビア	61,104	99,383	66,354	3,610	0
グアテマラ	24,442	32,362	36,966	207	0
インドネシア	42,951	41,057	34,917	0	0
エチオピア	22,940	19,125	18,540	218	0
タンザニア	11,884	11,517	12,381	90	0
ラオス	7,029	4,094	5,682	0	0
エルサルバドル	3,081	4,468	4,012	0	0
ニカラグア	3,235	1,904	3,426	0	0
..
計	415,131	451,543	434,503	6,015	0

資料:農林水産省「植物検疫統計」

状況（ステップ）にあるかについて、「輸入解禁要請に関する検証状況の一覧表」で農林水産省ホームページにおいて公表されておりますので参考して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/kunyu/attach/pdf/index-14.pdf>

【2017年9月1日現在で44カ国+1地域（台湾）から、146件の解禁要請が記されています。】

くん蒸安全旬間ポスター図案決まる

（一社）全国植物検疫協会が毎年実施している植物検疫くん蒸安全旬間ポスター図案選考会が去る9月5日、同協会会議室で開催された。

全植検協の選考委員にくわえて、農水省担当官及びポスター印刷会社のデザイナーにより、全国の植物防疫所、協会、防除業者の職員が応募した105点にのぼる作品について、厳正な審査が行われた。

その結果、最優秀賞には、九州植物検疫協会・森大史氏の作品が選ばれ、例年通り11月1日から10日まで実施される本年度の植物検疫くん蒸安全旬間のPR用ポスターとして印刷され、全国の関係者に配布されることになった。

なお、当協会からも12点応募し、次の作品が入賞した。

- 入選 青島 英夫 （業務グループ）
- 入選 人見 哲也 （業務グループ）
- 入選 齋藤 美穂 （業務グループ）
- 入選 永谷 祐介 （総務グループ）

会 員 ・ 役 員 の 異 動 （平成29年8月1日～平成29年9月30日）

☆入会会員

8月10日 榊 来 来 [商社] 〒536-0023 大阪市城東区東中浜3-19-14 ☎06(6968)6338
 8月14日 翔 達 商 事 株 [商社] 〒274-0822 千葉県船橋市飯山満町3-1582-2 ☎047(401)4745


タイム eye

業務グループ カナダ産パプリカ生果実東京港初輸入

9月8日、カナダ・バンクーバー港から東京港に寄港した“ITAL UNICA”号で、カナダ産条件付パプリカ生果実が初輸入され検査結果は無事合格であった。(写真)

パプリカをはじめピーマン、トウガラシなどのトウガラシ属の生果実は輸入禁止対象病害虫であるウリミバエ、ミカンコミバエ種群、チチュウカイミバエ、タバコベと病菌などの寄主植物の影響で生果実の状態では輸入できる国、地域が限られており、東京港では韓国とニュージーランドからの2か国のみ輸入実績がある。

とうがらし生果実（パプリカ含む）については、平成5年にチチュウカイミバエ発生地域であるオランダ産が、条件付輸入が解禁されたのに続き、平成28年にタバコベと病菌発生国であるカナダ産が条件付輸入解禁され、輸入解禁2例目である。



カナダ産の条件付輸入の定める基準として、1.カナダ植物防疫機関が要件を満たした指定地域の指定栽培施設で生産されたとうがらし生果実で、タバコベと病菌が発生していないこと。2.タバコベと病菌寄主植物の生茎葉等の調査が行われていること。3.タバコベと病菌の寄主植物及び病菌の指定栽培地域の指定栽培施設への移入に厳重な規制が行われていること。4.カナダ植物防疫機関により検査され、検疫有害動植物が付着していないことを認め、タバコベと病菌の発生が確認されていない指定地域内の指定栽培施設内で生産されたもので、指定地域内で梱包されたことを植物検疫証明書に特記されていること、などが条件となっている。

パプリカはカラーによって栄養素の含有量が変わるのも特徴である。赤パプリカは赤トウガラシにも多く含まれる抗酸化物質のカプサイシンが含まれており、黄パプリカはビタミンCと眼病予防に効果があるとされているルテインが多く含まれ、オレンジパプリカは抗酸化物質のβカロチン、ビタミンC、ビタミンEが多く含まれている。熱を加えて調理をすると甘みが増し、色鮮やかなパプリカ、夏の疲れを回復する食材としてはうってつけ

ではないだろうか。

(高木 光邦)

業務グループ 中国産生鮮野菜輸入量増加

当会が東京港で今年1月～8月に扱った中国野菜（冷凍含）は、176,879トンで前年同期比117.37%、コンテナ本数は8,503本で前年より1,171本増加している。

主な生鮮野菜の増加品目は、中国産生鮮野菜全体の約5割を占めるタマネギが78,304トンを前年比111.5%、次いでニンジン24,512トンを同149.7%、ナガネギ19,428トンを同107.3%、キャベツ12,409トンを同444.7%と最も増加している。

全国的にも増加しており植物検疫統計によると、中国産野菜（冷凍含）1～8月の輸入量は393,227トンを同116.4%と前年を大きく上回っている。

東京港の今年1～8月の主な中国産生鮮野菜の輸入コンテナ本数は以下の通り。

【東京港1～8月】

単位：本

品目	平成28年	平成29年	(±)本数
タマネギ	2,827	3,181	354
ナガネギ	1,302	1,354	52
ニンジン	601	859	258
ニンニク	413	394	-19
シヨウガ	367	360	-7
ゴボウ	194	211	17
キャベツ	104	623	519

最も輸入量が多いタマネギについては、国内2位の産地の佐賀県では病気が流行し、北海道産も台風の影響による出荷減が見込まれた。一方、中国では作付面積、収穫量ともに、生産者がその時々相場に応じて生産を拡大、縮小させているため供給量が豊富なことから増加している。

ニンジンについては、国内での供給量のうち輸入品は約一割で、その9割が中国産となっている。中国の好天により、輸入価格が対前年比で大幅に下落したことに加え、前年は寒波による不作で平年に比べて輸入量が減少していたことや、国産の日照不足、低温により、生育環境が整わなかったことが考えられる。

キャベツについては、前年は中国の主産地の不作により価格が高騰し輸入量が減少していたことに加え、春先までの低温、干ばつの影響で国産の価格が高かったことから増加したと考えられる。

中国野菜は、主に業務用、加工用に利用され、残留農薬の対応やトレーサビリティなど、安全対策を徹底し安定して輸入されている。災害や天候不順などの影響により、国産が品薄時の代替とされる品目もあるが、剥きたマネギやニンジンなどは、様々なユーザーの要望に応じた形態やサイズなど、増加理由は代替えだけでは無いとされている。中国の野菜栽培で土地代と人件費の増加に加え種苗費の増加の問題もあり、増加傾向が続くかは今後の動向に注目したい。

(西村 洋一)

東京港輸入植物品目別統計表

(平成29年1月～8月累計)

品目	単位	コンテナ詰			在来船積		合計	
		本数	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量
栽植用植物	個	39	1,235,287	1,262	0	0	1,235,287	1,262
栽植用球根類	個	94	17,674,420	2,120	0	0	17,674,420	2,120
アマリリス	"	8	78,684	0	0	0	78,684	0
チューリップ	"	0	0	0	0	0	0	0
ユリ	"	79	15,475,775	0	0	0	15,475,775	0
栽植用種子	kg	280	2,671,719	125,681	0	0	2,671,719	125,681
草花・樹木	"	2	6,514	0	0	0	6,514	0
野菜	"	144	604,318	1,000	0	0	604,318	1,000
普通・特用作物	"	40	583,265	122,640	0	0	583,265	122,640
牧草・芝草	"	80	1,351,490	0	0	0	1,351,490	0
切花、切葉、切枝	個	1,189	191,522,354	11,538,240	0	0	191,522,354	11,538,240
アンスリウム	"	0	1,364	0	0	0	1,364	0
オンシジューム	"	195	9,566,559	884,664	0	0	9,566,559	884,664
キク	"	623	52,800,227	2,128,532	0	0	52,800,227	2,128,532
シダ(レザーフアン)	"	104	24,403,280	166,300	0	0	24,403,280	166,300
果実	kg	8,965	160,460,767	9,534,509	189,258,076	128,660,276	349,718,843	138,194,785
オレンジ	"	1,377	23,501,021	2,172	1,023,873	0	24,524,894	2,172
グレープフルーツ	"	778	14,966,995	1,194,012	15,767,178	0	30,734,173	1,194,012
タンジェロ(ミネオラ)	"	349	6,603,606	0	0	0	6,603,606	0
レモン	"	1,025	21,668,842	402,747	471,380	0	22,140,222	402,747
パイナップル	"	513	10,120,355	1,329,944	15,960,379	14,088,868	26,080,734	15,418,812
バナナ	"	1,049	18,694,625	4,512,695	137,466,333	114,571,408	156,160,958	119,084,103
マンゴウ	"	155	1,932,978	0	420	0	1,933,398	0
キーウイフルーツ	"	441	7,648,830	13,063	18,557,414	0	26,206,244	13,063
ブドウ	"	450	7,374,014	0	0	0	7,374,014	0
野菜	kg	11,672	228,003,549	2,582,926	68	0	228,003,617	2,582,926
カボチャ	"	466	10,701,297	997,113	0	0	10,701,297	997,113
サヤエンドウ(キヌサヤ)	"	16	103,139	3,200	0	0	103,139	3,200
パプリカ	"	88	551,477	18,561	0	0	551,477	18,561
メロン(ハミウリ含む)	"	93	1,625,797	0	0	0	1,625,797	0
キャベツ	"	669	13,229,168	190,420	0	0	13,229,168	190,420
セロリ	"	152	2,289,303	237,235	0	0	2,289,303	237,235
ナガネギ	"	1,354	19,428,609	165,035	0	0	19,428,609	165,035
ニンニクの芽	"	38	1,106,757	0	0	0	1,106,757	0
ハクサイ	"	36	668,985	22,950	0	0	668,985	22,950
ブロッコリー	"	579	5,074,157	450,838	0	0	5,074,157	450,838
レタス	"	297	3,371,290	84,576	0	0	3,371,290	84,576
タマネギ	"	3,719	92,056,379	141,900	0	0	92,056,379	141,900
ニンニク	"	436	6,815,610	22,429	0	0	6,815,610	22,429
アスパラガス	"	42	458,101	24,466	0	0	458,101	24,466
ゴボウ	"	217	6,081,124	11,900	0	0	6,081,124	11,900
サトイモ	"	38	737,800	26,000	0	0	737,800	26,000
ショウガ	"	387	8,356,955	0	0	0	8,356,955	0
ニンジン	"	965	26,855,026	51,000	0	0	26,855,026	51,000
こく類	kg	6,181	127,880,929	1,054,180	148,439,305	8,461,636	276,320,234	9,515,816
オオムギ	"	28	577,276	0	0	0	577,276	0
エンバク	"	212	4,550,033	0	0	0	4,550,033	0
コムギ	"	217	4,226,116	1,014,580	148,439,305	8,461,636	152,665,421	9,476,216
コメ	"	1,189	22,749,758	39,600	0	0	22,749,758	39,600
ソバ	"	47	941,149	0	0	0	941,149	0
トウモロコシ	"	135	2,373,621	0	0	0	2,373,621	0
モルト	"	4,287	91,332,713	0	0	0	91,332,713	0
まめ類	kg	5,600	112,177,689	182,409	0	0	112,177,689	182,409
エンドウ	"	32	713,999	0	0	0	713,999	0
ダイズ	"	5,327	107,187,966	182,409	0	0	107,187,966	182,409
ラッカセイ	"	85	1,646,288	0	0	0	1,646,288	0
嗜好香辛、薬染料、その他食品	kg	2,906	43,596,485	0	0	0	43,596,485	0
カカオ	"	26	320,054	0	0	0	320,054	0
コーヒー	"	111	1,687,819	0	0	0	1,687,819	0
タバコ	"	670	12,249,980	0	0	0	12,249,980	0
アーモンド	"	679	11,147,707	0	0	0	11,147,707	0
クリ	"	12	107,259	0	0	0	107,259	0
クルミ	"	527	7,631,643	0	0	0	7,631,643	0
ポップコーン	"	175	3,517,397	0	0	0	3,517,397	0
油料、肥飼料、その他雑品	kg	18,688	421,596,849	475,120	11,303	0	421,608,152	475,120
乾燥牧草(ヘイ)	"	13,979	324,382,138	229,364	0	0	324,382,138	229,364
アニマルフィード	"	20	253,898	0	0	0	253,898	0
アルファルファヘイキューブ・ペレット	"	919	23,551,696	0	0	0	23,551,696	0
コーンコブミール	"	6	151,200	0	0	0	151,200	0
飼料大豆カス、ペレット	"	0	0	0	0	0	0	0
ビートパルプペレット	"	0	0	0	0	0	0	0
イネワラ	"	29	339,477	0	0	0	339,477	0
ココピート	"	317	5,726,638	0	0	0	5,726,638	0
ココヤシ園芸資材	"	208	4,360,774	0	0	0	4,360,774	0
ビートモス	"	620	13,491,085	0	0	0	13,491,085	0
ミズゴケ	"	42	97,645	0	0	0	97,645	0
タケ	"	65	876,748	0	0	0	876,748	0
木材	m³	40	688	427	0	0	688	427
** 総合計 **	kg	54,292	1,096,387,987	13,954,825	337,708,752	137,121,912	1,434,096,739	151,076,737
	個	1,322	210,432,061	11,541,622	0	0	210,432,061	11,541,622
	m³	40	688	427	0	0	688	427

注) 主要品目のみ掲載。携帯品、郵便物及び他港からの荷受分は含めない。